

## 資料目次

- 資料 1 福岡女子大学の沿革
- 資料 2 公立大学法人福岡女子大学 中期目標、中期計画
- 資料 3 「福岡女子大学改革基本計画」の概要
- 資料 4 福岡県の主要施策
- 資料 5 福岡県の貿易額の推移
- 資料 6 福岡県の輸出入国（地域）順位表
- 資料 7 県内企業の海外進出状況及び県内への海外企業進出状況
- 資料 8 外国人入国者数（福岡県）及び県内留学生数の推移
- 資料 9 外国人登録者数（福岡県）の推移
- 資料 10 国際比較でみた男女共同参画の状況
- 資料 11 学術交流協定締結大学一覧
- 資料 11-2 学術交流協定締結大学との協定文書等の写し
- 資料 12 短期留学生受入れプログラムの概要
- 資料 13 公立大学法人福岡女子大学職員就業規則（抜粋）
- 資料 14 公立大学法人福岡女子大学教員の定年の特例に関する規則（案）
- 資料 15 日本言語文化履修モデル
- 資料 16 欧米言語文化履修モデル
- 資料 17 東アジア地域研究履修モデル
- 資料 18 国際関係履修モデル
- 資料 19 国際経済・マネジメント履修モデル
- 資料 20 環境物質履修モデル
- 資料 21 環境生命履修モデル
- 資料 22 環境生活履修モデル
- 資料 23 国際環境政策履修モデル
- 資料 24 食・健康履修モデル
- 資料 25 管理栄養士資格取得モデル
- 資料 26 福岡県栄養士養成施設協議会規約
- 資料 27 福岡県栄養士養成施設協議会 会員一覧
- 資料 28 福岡女子大学の管理栄養士養成実習に係る確認書
- 資料 29 実習計画（管理栄養士）
- 資料 30 現代GP「男女共同参画社会をめざすキャリア教育」の概要

## 福岡女子大学の沿革

- 1923(大正 12)年 福岡県立女子専門学校として開校
- 1950(昭和 25)年 福岡女子大学開学  
学芸学部(国文学科、英文学科、生活科学科)の一学部で発足
- 1954(昭和 29)年 文学部(国文学科、英文学科)と家政学部(家政学科、家庭理学科)  
の二学部体制発足
- 1993(平成 5)年 大学院文学研究科修士課程(国文学専攻、英文学専攻)を設置
- 1995(平成 7)年 家政学部を人間環境学部(環境理学科、栄養健康科学科、生活環  
境学科)に改組
- 1997(平成 9)年 大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程を設置
- 2000(平成 12)年 大学院人間環境学研究科修士課程(環境理学専攻、栄養健康科学  
専攻、生活環境学専攻)を設置
- 2006(平成 18)年 大学の設置者が「福岡県」から「公立大学法人福岡女子大学」に  
変わる。

## 公立大学法人福岡女子大学 中期目標、中期計画

### ◆中期目標（抜粋）

#### ○前文

今後、福岡女子大学は、受験生の動向や卒業生などの検証を行い、学部学科を含めた抜本的な改革に早急に取り組まなければならない。

#### ○1. 教育－（5）大学改革の推進

受験生の動向や学生の就職状況等を踏まえ、大学全体の教育組織及び教育内容の抜本的改革に取り組む。

### ◆中期計画（抜粋）

#### ○前文

今回の法人化と中期計画においては、改めて大学全体として教育組織と教育内容を抜本的に見直します。

#### ○1（教育）－8（大学改革の推進）

福岡県とアジア諸国とのネットワークの知的拠点となる大学づくりを進め、国際社会で活躍できる高度専門職業人を育成するため、理事長のもと、福岡女子大学の教育組織及び教育内容の抜本的な改革を推進する。

### 【 参 考 】 福岡女子大学改革基本計画策定後の中期目標・計画

#### ◆中期目標（抜粋）…H20. 12. 18 福岡県議会議決

##### ○前文

福岡女子大学は、その使命を十分に果たしていくため、「福岡女子大学改革基本計画」（平成20年11月策定）に基づき、新しい時代にふさわしい大学づくりに向け、全力で取り組まなければならない。

##### ○8. 大学改革の推進

「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、平成二十三年度を目途に、学部学科の再編及び新たな教育システムの構築をはじめとする抜本改革に取り組む。」

#### ◆中期計画（抜粋）…H21. 1. 28 変更

##### ○8（大学改革の推進）－1（大学改革の推進）

「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、次の事項を改革の柱として、平成23年度の新学部開設に向け、全学を挙げて改革推進に取り組む。

- ・グローバル化時代に対応した学部学科の再編
- ・自らの関心に応じて学習できる弾力的な教育システムの導入
- ・これからの社会に求められる普遍的な能力を培う「国際共生プログラム」を実施
- ・外国語によるコミュニケーション能力の育成
- ・学外の教育リソースを活用した体験型の学習環境の創出
- ・教育の場としての学生寮                      ・社会貢献機能の充実

## 「福岡女子大学改革基本計画」の概要

### 1 改革の基本理念

グローバル化時代を迎え、社会は複雑かつ急激に変化している。また、我が国では少子高齢化が進展し様々な分野で女性の社会進出が進む中、今後女性が社会の中核となって活躍することが求められている。

このため、福岡女子大学は学部学科及び教育システムを改革し、変化の時代に柔軟に対応できる豊かな知識と確かな判断力、しなやかな適応力を持ち、アジアや世界の視点に立って、国内はもとより、海外の国や地域において、より良い社会づくりに貢献することのできる女性の育成を目指す。

### 2 改革の概要

#### (1) 改革の柱

- ◇ グローバル化時代に対応した学部学科の再編
- ◇ 自らの関心に応じて学習できる弾力的な教育システムの導入
- ◇ これからの社会に求められる普遍的な能力を培う「国際共生プログラム」を実施
- ◇ 外国語によるコミュニケーション能力の育成
- ◇ 学外の教育リソースを活用した体験型の学習環境の創出
- ◇ 教育の場としての学生寮（原則1年間の全寮制教育）
- ◇ 社会貢献機能の充実（福岡の女性の生涯にわたる再学習拠点）

#### (2) 改革の内容

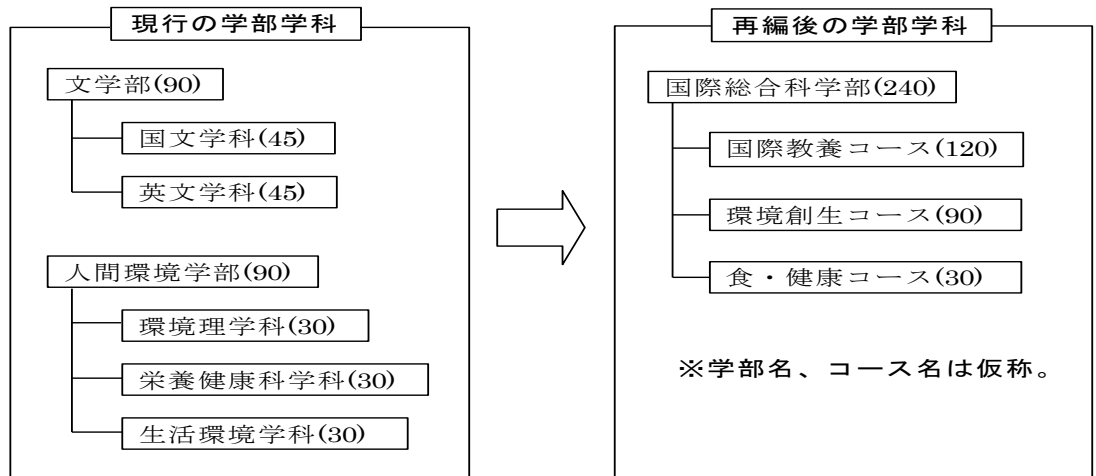
##### ア 学部学科の再編

- ・現在の2学部5学科を1学部3つのコースに再編。
- ・教育の幅を広げ、キャンパスの活性化を図る観点から、学部の収容定員を増員。  
※現行720名 → 再編後960名

##### <再編の考え方>

- ・グローバル化による多様性と持続可能性への対応が今日の社会の大きな課題となっており、国際的な共生・共存の視点から総合的に教育研究を行う新たな学部を設置。
- ・新学部には、これからのグローバル化時代に期待される人材を養成する教育研究分野として「国際」、「環境」、「食・健康」の3つの課題に応じたコースを設定。

##### <再編図> ※（ ）内は入学定員数



## ＜各コースの人材育成目標＞

- 「国際教養コース」: ビジネスの分野などで国内はもとより海外の国や地域において広く活躍できる人材を育成。
- 「環境創生コース」: 地球規模の視野で地域やアジアの環境問題を捉え、環境と調和した持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成。
- 「食・健康コース」: 国際的な視点に立って、食の安全や健康問題に貢献できる人材を育成。

## イ 新たな教育システム

### ○教育の基本方針

学問分野の枠を超えて共通に求められる知識や思考力、人間としてのあり方や生き方への深い自覚、国際的な共生の視点など、グローバル化する社会で自らにふさわしい生き方を実現するために必要な能力と専門性を身に付けることができるよう、主体的な学びと幅広い学びを重視した実践的な教育を実施。

また、学生のキャリア意識を高め、キャリアビジョンの形成に向けた支援を行う。

### ○全学共通教育

- ・国際的な視点に立って柔軟に思考できる力や課題発見・解決力など、これからの社会に求められる普遍的な能力を身に付けさせるため、学士課程教育の4年間を通じた教育課程の柱として「国際共生プログラム」を全学的に実施。

#### ＜国際共生プログラム＞

「英語集中プログラム」「体験学習プログラム」「情報活用教育」「日本文化理解教育」「アジア言語教育」「学生寮における留学生との国際交流」

### ○専門教育

- ・国際的な視点を共通のテーマとして、各コースの人材育成目標に沿ったカリキュラムを編成。
- ・一定の条件の下にコース変更を可能とするとともに、コース内に複数の専攻分野を設定。

### ○教養教育の充実のための方策

- ・「何を教えるか」よりも「何を身に付けさせるか」に力点を置き、学生参加型の少人数教育の徹底や体験型学習の充実・強化を実施。

### ○外国語コミュニケーション能力の育成のための方策

- ・単に「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」ことを基本として、習熟度別のクラス編成による英語集中プログラムや英語による授業の実施。

## ウ 海外学習制度と留学生の受け入れ

- ・学生のニーズに対応した長期・短期の海外学習プログラム（交換留学、語学研修、フィールドスタディなど）を実施。
- ・海外からの留学生を積極的に受け入れ、国際的なキャンパスを創出。
- ・奨学基金を創設し、海外学習及び海外からの留学生受入を積極的に支援。

## エ 教育の場としての学生寮

- ・豊かな人間性や社会性を培い、留学生との国際交流を深める教育の場として学生寮を位置づけ、原則として1年間の全寮制教育を実施。

## オ 社会貢献機能の充実

- ・社会人女性のキャリアアップや再就職に役立つ実践的教育プログラムの提供など、女性の一生涯を対象にした再学習拠点としての機能を充実。

## (3) 新学部の開設時期

- ・平成23年4月開設予定

## 福岡県の主要施策

※ふくおか新世紀計画（福岡県策定）より

### ◆活気あふれるアジアの交流拠点ふくおかづくり

#### ○アジアの交流拠点の構築

アジアにおける交流拠点としての地位を築いていくために、知的な人材の集積や多様な交流による情報の集積が必要。このため、アジアに関する情報を世界に発信していくアジアの知的センターの形成に努めるとともに、アジア人材を積極的に活用する。また、中国・韓国をはじめ発展著しい他のアジア諸国と多層にわたる交流により連携を深めることで、拠点性を高める。

- ・アジアの知的センターの形成
- ・開かれた地域社会の形成
- ・国際連携の推進

### ◆快適で潤いのある循環型社会づくり

#### ○資源循環型社会の構築

将来にわたって持続発展が可能な社会とするため、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から脱却し、リデュース、リユース、リサイクルという、3つのRを通じた資源循環システムを構築することが求められている。このため、リサイクル技術・社会システムの研究開発や環境産業の振興、廃棄物の適正処理の確保などにより資源循環型社会づくりを進める。

- ・リサイクルの推進と環境産業の振興
- ・廃棄物の適正処理の推進

#### ○地球的視野に立った環境の保全と創造

過去から受け継いできた豊かでかけがえのない地球を、次の世代に引き継いでいく責務がある。このため、地球上のすべての生存を脅かす地球温暖化の防止、安らぎと潤いをもたらす豊かな自然環境の保全、空気や土壌などの身近な生活環境の保全に取り組む。

- ・地球温暖化対策の実施
- ・豊かな自然環境の保全と再生
- ・快適な生活環境の保全
- ・国際環境協力の推進

#### ○参加と協働による循環型社会づくり

私たちの社会は、県民、事業者、行政などの多様な主体によって成り立っており、現在の環境問題はそれぞれの主体の活動によってもたらされている。その解決に当たっては各主体の参加、協力が不可欠。このため、県民、NPO・ボランティア、事業所、行政等による新たなパートナーシップを構築するとともに、自主的な活動を促し、県民一体となった循環型社会づくりに取り組む。

- ・自主的な環境保全活動の促進

## ◆いきいきと暮らせる安全・安心な社会づくり

### ○健やかに暮らせる社会づくり

健康でいきいきとした活力ある社会を実現するために、健康増進施策を推進するとともに、医療体制の充実を図り、県民が健やかに安心して暮らせる社会づくりを進める。また、県民の食に対する関心は年々高まってきており、食品の安全性や食に対する安心感を確保するとともに、健全な食生活を推進するなど食環境の充実を図る。

- ・ 県民の健康くらしづくり
- ・ 食の安全・安心の確保

## ※特区構想 … 福岡・アジア新時代創造特区（別紙参照）

### ※関連する主要なプロジェクト等

#### [シリコンシーベルト福岡プロジェクト]

多くの半導体関連の企業・大学・研究機関が集積し、世界の半導体生産の約5割を担う韓国から九州、上海、台湾、香港、シンガポール等を結ぶ半導体生産のベルト地帯「シリコンシーベルト」における先端的なシステムLSI開発拠点を福岡に構築するプロジェクト

#### [福岡水素戦略～Hy-Lifeプロジェクト～]

環境にやさしい水素エネルギー利用社会の実現に向け、水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した各種研究開発、新技術を実社会で活用するための先進的な社会実証、人材育成などを実施。

#### [フクオカベンチャーマーケット]

ベンチャー企業とビジネスパートナー（投資家、企業等）とのマッチングの場を提供。国内のみならず、アジアのベンチャー企業も参加。

#### [福岡バイオバレープロジェクト]

バイオテクノロジーを核とした新産業・バイオベンチャーの創出や、関連企業・研究機関の一大集積拠点（バイオクラスター）の形成を目指し、アジア諸国との連携を視野に入れて推進。

#### [国際環境人材研修事業]

アジア諸国の環境施策に携わる中核行政官を招へいし、様々な先進的な取組み（エコタウン等）、高度な技術を有する環境産業・研究機関（福岡県保健環境研究所、大学等）の集積など、福岡県の環境リソースを活用した人材育成研修を行うことで、アジア諸国の循環型社会形成に貢献するとともに、アジア諸国と環境分野におけるネットワークを構築。

#### [福岡県立アジア文化交流センター]

独立行政法人国立文化財機構九州国立博物館と一体となり九州国立博物館を運営。主にアジアとの学術・文化交流や博物館の展示などに取り組む。

#### [アジア・ユース・カルチャー・センター]

音楽や映画などあらゆるジャンルにおけるポップカルチャー情報を日本語、中国語、韓国語、タイ語、英語で掲載するサイト「アジアンビート」を運営。情報は、日本のみならずアジアから収集、国境を越えた次世代を担う若者の交流・共通基盤づくりが目的。

# 福岡・アジア新時代創造特区

## 地域戦略1 イノベーション・先端成長産業拠点

### イノベーションの推進による先端成長産業の育成

- 先端半導体産業の研究開発・集積推進
  - ・世界レベルの先端システムLSI開発拠点を構築する「シリコンシーベルト福岡」の推進
  - ・設計から試作品の製造、実証試験まで行える「日本版IMEC（先端半導体研究所）」の設立
- 自動車産業の研究開発・集積推進
  - ・北部九州自動車150万台先進拠点の構築
  - ・高齢者にやさしい自動車の開発
- バイオテクノロジー産業の研究開発・集積推進
  - ・バイオベンチャーの創出や関連企業・研究機関の集積を図る「福岡バイオバレープロジェクト」の推進
  - ・「パプチドワクチン」による第4のがん治療法の実用化
- アジアの治験ネットワークの構築
- 水素エネルギー産業の研究開発・集積推進
  - ・研究開発、水素エネルギー産業の育成・集積等に総合的に取り組む、世界最先端の「福岡水素戦略～Hy-Lifeプロジェクト」の推進
  - ・水素タウン、水素ハイウェイなどの社会実証の推進
  - ・関連製品の世界標準化を目指す試験・評価拠点の構築
- ナノテクノロジー産業の研究開発・集積推進
  - ・産学官共同研究による新素材・加工技術の開発・実用化
- ロボット産業の研究開発・集積推進
  - ・医療・介護・生活支援ロボットの開発・実用化
- Ruby・コンテナ産業の研究開発・集積推進
  - ・世界最先進・最大のRubyビジネス拠点の構築
  - ・クラウドRubyや組み込みRubyなどの次世代Rubyの開発
  - ・ゲーム、アニメ、Web関連等デジタルコンテンツ産業の振興

### 世界的な知の交流拠点の構築

- 先端技術高度人材の交流の推進
  - ・水素先端世界フォーラム、シリコンシーベルトサミットなど先端世界会議の開催
- 大学や研究機関間の多様なネットワークの形成
  - ・アジアの大学等教育研究機関との連携の中心を担う「アジア研究の中核機関」の設置
  - ・アジアで活躍できる公認会計士、税理士などの養成機関の創設

### 情報通信技術によるアジア諸国のソーシャルイノベーションの支援

- 九州大学が開発したICカードによるガラン銀行（Bank of Gan）の電子通帳化システム構築支援

## 地域戦略2 アジアビジネス拠点

### APEC中小企業大学の創設

- アジア中小企業の経営力強化支援
  - ・アジアの中小企業経営者を対象にしたOJT中心のカリキュラムと日本企業との交流を重視した講座
  - ・2010年11月のAPEC総会（横浜）に向け、本校創設を国へ提案
  - ・アジアの経済を下支えする中小企業を育成し、アジア経済の発展とわが国経済の活性化に貢献

### アジアベンチャーの活発な起業を積極的に支援

- 福岡アジアベンチャーマーケット（FVMアジア）の開催
  - ・アジアベンチャー企業とビジネスパートナーとのマッチングによるベンチャー支援
- 福岡証券取引所との連携
- 国際ベンチャー専門人材の設置
  - ・ベンチャー企業の資金、販路、業務提携などをコーディネート
- “アジアベンチャーファンド”の創設
  - ・アジアベンチャー企業を支援する国営ファンド
- ベンチャーのスタートアップを支援する税制の拡充

### アジア企業の対日進出支援

- 進出企業の活動拠点整備
  - ・アジア企業に特化したインキュベーション体制の整備
- アジア企業の円滑な進出を促進するための総合的な支援
  - ・市場調査、従業員採用、会社設立、金融、税制などのワンストップ支援

### 県内中小企業のアジアビジネスを促進

- インターネット通販によるアジアへの販路開拓支援
  - ・福岡よかもん市場の拡充等によるアジアへの販路拡大
  - ・インターネット通販システムの確立
- 中小企業海外取引安全システムの確立
  - ・代金回収や知的財産権の安全確保による海外取引機会の拡大
- 中小企業の海外取引への参入支援
  - ・海外取引・展開を行う際のワンストップ窓口の設置
  - ・県制度融資「海外展開支援資金」の創設
- 多様な地域資源を活用した世界で売れる地域特産品の開発
  - ・輸出応援ファンドにより、農林漁業者と中小企業者の連携による輸出手向け新商品開発を支援

- アジア富裕層に向けた安全で高品質な農産物のアジアへの輸出拡大

- ・産地検疫の拡充
- ・アジア客への観光農園ツアーによる県内農産物のファン拡大



### 地域戦略 3 アジアの環境先端拠点

#### 環境に優しい新エネルギーの開発・普及

- 水素エネルギー実用化による低炭素社会の構築
- 石炭ガス化・高効率発電システムの開発
  - ・ 低品質石炭のガス化による高効率で環境に優しい発電システムの開発
- 廃棄物から高効率に熱回収し、広域的なダイオキシン類対策を実現する固形化燃料 RDF 発電の普及
  - ・ RDF 発電技術とともに必要な分別収集システムや環境教育をアジアに普及

#### 低炭素環境未来都市の創造

- 新エネルギー(水素・太陽光発電等)・スマートグリッドを整備した低炭素型の街づくりを推進
  - ・ 北九州市八幡東田地区をはじめとするモデル地区におけるスマートグリッドを活用したまちづくりの実証実験

#### リサイクルシステムのアジアへの普及

- 廃家電製品などからレアメタルや炭素繊維のリサイクルを推進
  - ・ アジア諸国地域における廃小型家電の回収システムの構築
- 廃棄物の分別収集システムの普及

- ・ アジアの各都市における廃棄物の収集、リサイクル、処理に関する実態の把握と分別収集モデル事業の実施

#### アジアの環境を守る中核人材育成

- アジア環境人材センター
  - ・ 国際環境人材育成研修の北九州市アジア低炭素化センターとの連携強化及び環境保全技術のアジア展開支援
  - ・ 講師の人材バンク設置
- 研究者の交流や留学生の受入れ研修の実施
  - ・ 産学官共同研究の実施
  - ・ 環境分野の留学生に対する日本の環境施策研修

#### アジアの環境モニタリングネットワークの構築

- 共同モニタリング、研究、技術開発の拠点(アジア環境研究所)の構築

- ・ アジアの環境保全研究、観測ネットワーク、技術開発の拠点となるアジア環境研究所(仮称)の設置

#### 自治体間環境協力の拡大強化

- アジア自治体との環境協力協定を締結し、環境プロジェクトを共同推進
  - ・ 環境協力協定の締結(環境人材の育成、環境教育・啓発、環境技術交流促進、環境ビジネス促進委員会の設置)
  - ・ 相手国の環境課題の把握と改善の方向性の提言
  - ・ 環境改善に向けたプロジェクトの推進(人材育成、環境教育、環境改善モデル事業の実施)
  - ・ 民間ベースでの環境ビジネスの推進

### 地域戦略 4 アジアの高度医療、健康・癒し拠点

#### アジア高度医療センターの形成

- 多言語対応高度医療機関群の整備
  - ・ 特色ある高度医療機関の選定
  - ・ 医療通訳の育成・派遣
- 国際認証医療機関の整備
  - ・ 国際医療機能評価「JCI」認証取得の促進
- アジア医療サポートセンター(仮称)の創設
  - ・ アジアからの受診をアレンジする事業者群の形成(多言語コールセンター、民間保険業者、旅行会社、医療通訳等)
- 海外専門人材(医師、看護師等)の受入促進
  - ・ 外国人免許所持者の国内での即戦力化に向けたシステムの構築
  - ・ 高度医療機関(国際外来、外国人専用病床)や多言語診療所における活用
- アジア高度医療機関国際ネットワークの形成
  - ・ 相互の交流・研究協力体制等の形成
  - ・ 遠隔医療ネットワークとの連携による本県医療ツーリズムの差別化

#### アジアの健康・癒し拠点体制の整備

- 検査受診外国人の受入れ促進
  - ・ 医療ツーリズムの実証調査(ミニツアー等)の実施
  - ・ アジア医療サポートセンター(仮称)を核とした事業化の推進
- 温泉、自然、和の体験を活用したアジア向けリフレッシュ観光の推進
- 健康食品のブランド化による販路拡大
  - ・ 県独自の規格基準「福岡健康安全食品(仮称)」の設定とブランド化によるアジアへの販売促進

### 地域戦略 5 アジアファッション、美容、若者文化、ショッピング拠点

#### ファッション、美容産業の振興

- 福岡アジアコレクションを核としたファッション産業の振興
- ヘア・メイク・エステ・ネイル等美容情報のアジアへの発信と産業振興

#### ショッピング・グルメ拠点の形成

- アジアショッピングセンター、アジアグルメスタジアム
  - ・ 地域特産物保税店舗の設置(免税措置の拡大:酒税等)
  - ・ 銀聯カードの普及促進等
- 中国などからの豪華クルーズ船の寄港促進

#### アジア若者文化の創造・発信

- 「アジアンビート」による若者文化の多言語での発信
  - ・ ポップミュージック、まんが、アニメ、ファッション等の若者文化コンテンツを創造し、多言語で発信
- 「アジアンビート」の情報発信力の強化
  - ・ アジアのTV、ラジオ、雑誌等の多様なメディアと連携

#### アジアの人材育成拠点の推進

- 研究者や留学生の受入・就職支援
- インターナショナルスクールの充実・整備
- アジアで活躍できる人材の育成(多言語教育、海外大学への進学・留学の促進)

#### 多言語生活環境の整備

- 多言語化によるアジアの人々が安心して生活を楽しめる地域づくりの推進
  - ・ 地デジTVの文字放送の活用、ラジオ、災害警報システムなどによる生活情報提供の多言語化の推進
  - ・ 海外専門人材(医師、看護師等)を活用した多言語診療所の開設
  - ・ 外国人研究者等の子女の学校への受入を可能とする多言語教育
  - ・ 観光案内板、商業施設店内表示、飲食店メニューの多言語化促進

### 地域戦略 6 アジア交流先進社会資本拠点

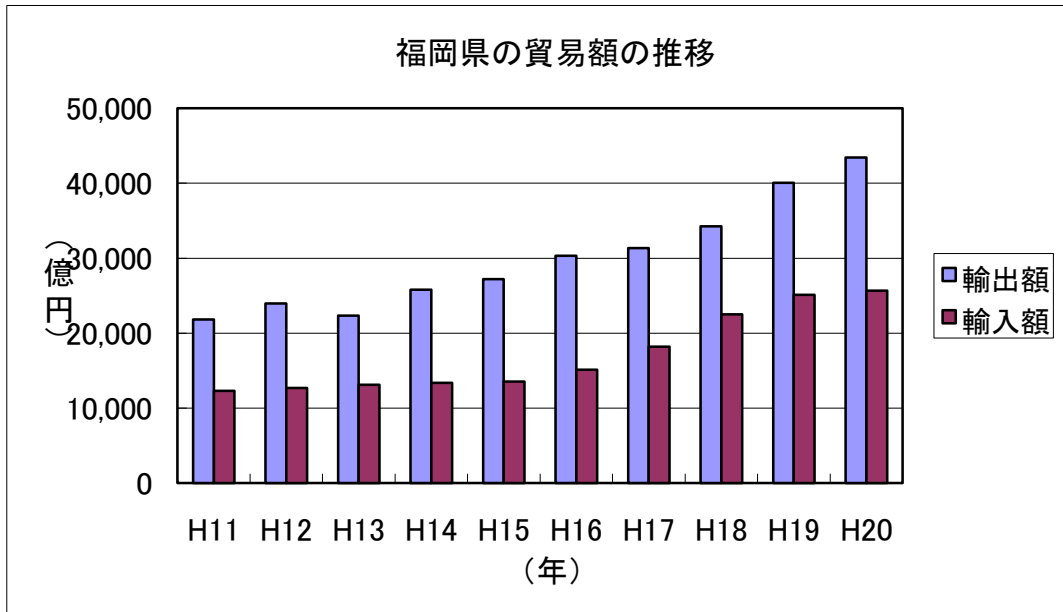
#### アジアとつながる新時代交通・情報通信網

- 福岡空港のアジア拠点空港化
  - ・ 滑走路増設の早期着手・完成
  - ・ 国際・国内線の乗り継ぎ利便性向上
  - ・ アジア便に係る着陸料、利用料の大幅減免
  - ・ 入国管理、税関、検疫手続きの迅速化
- 北九州空港の物流ハブ空港化
  - ・ 国際貨物専用便誘致に不可欠な滑走路の3,000メートル延伸
  - ・ 航空貨物集積のための助成制度の創設
  - ・ アジア便に係る着陸料、利用料の大幅減免
  - ・ 物流関連企業集積のための自由貿易地域の創設
  - ・ 入国管理、税関、検疫体制の充実

#### 博多港、北九州港のアジア中枢港化

- 博多港、北九州港のアジア中枢港化
  - ・ 地理的特色を生かした港湾機能の強化
  - 高速・高機能ネットワーク形成のための道路整備
    - ・ 空港、港湾などの交流拠点をネットワークする幹線道路の整備
    - ・ 交流拠点施設と研究・開発施設など各拠点を結ぶ道路ネットワークの強化
  - ・ 次世代自動車情報システムの導入など道路空間の高度利用
  - ・ パークアンドライドなどによる複数の交通手段の連結の強化
- リージョナルジェット(小型機)による濃密なアジアとの都市間ネットワークの形成
  - ・ 東アジアにおけるリージョナルジェットの拠点空港化
  - ・ ICカードを利用した外客の利便性向上
- アジアビジネスを支える情報通信基盤の整備
  - ・ 最先端のユビキタスネットワーク拠点整備

## 福岡県の貿易額の推移



(単位: 億円)

年次	輸出額			輸入額		
	輸出額	うちアジア	比率	輸入額	うちアジア	比率
H11	21,816	10,559	48.4%	12,289	8,037	65.4%
H12	23,956	12,337	51.5%	12,702	8,853	69.7%
H13	22,328	11,878	53.2%	13,129	9,125	69.5%
H14	25,778	13,637	52.9%	13,364	9,542	71.4%
H15	27,218	14,589	53.6%	13,545	9,820	72.5%
H16	30,333	17,290	57.0%	15,099	11,022	73.0%
H17	31,364	19,132	61.0%	18,201	13,414	73.7%
H18	34,246	21,027	61.4%	22,502	16,719	74.3%
H19	40,079	26,171	65.3%	25,120	18,362	73.1%
H20	43,430	28,099	64.7%	25,673	18,408	71.7%

輸出額 約 2.0 倍

輸入額 約 2.1 倍

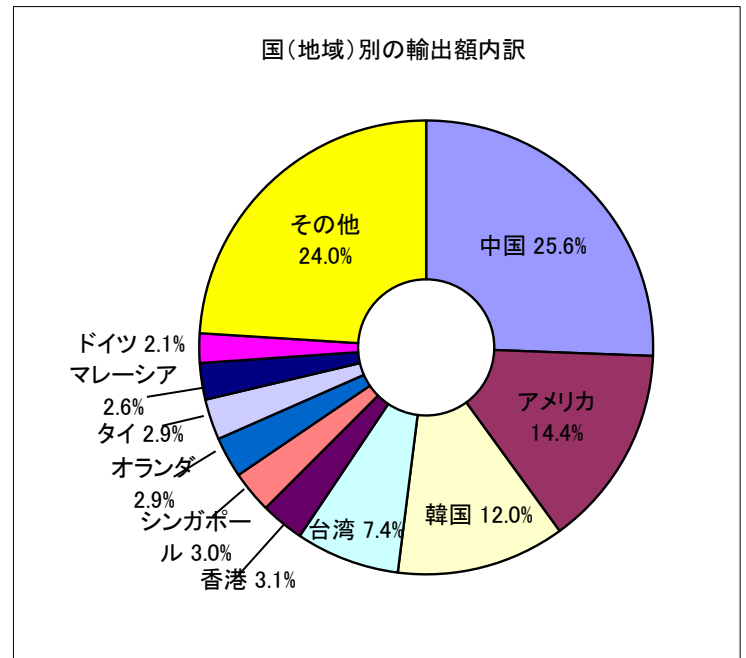
※福岡県「福岡県の貿易」に基づき作成

## 福岡県の輸出入国(地域)順位表

## (輸出)

順位	平成20年		
	国(地域)名	輸出額(百万円)	構成比(%)
1	中国	1,112,938	25.6%
2	アメリカ	625,068	14.4%
3	韓国	523,212	12.0%
4	台湾	320,157	7.4%
5	香港	134,579	3.1%
6	シンガポール	131,140	3.0%
7	オランダ	127,108	2.9%
8	タイ	124,149	2.9%
9	マレーシア	111,000	2.6%
10	ドイツ	90,954	2.1%
	その他	1,042,704	24.0%
	合計	4,343,009	100.0%

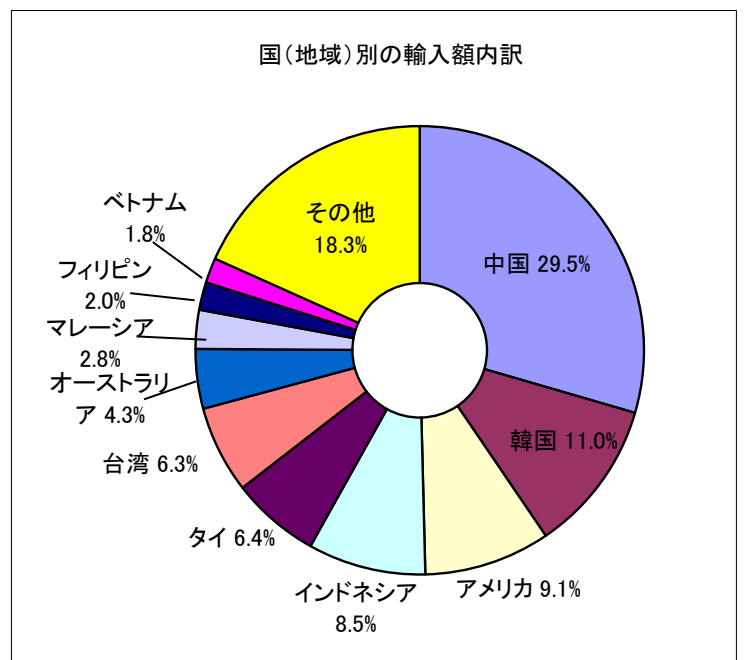
※門司税関資料に基づき作成



## (輸入)

順位	平成20年		
	国(地域)名	輸入額(百万円)	構成比(%)
1	中国	757,088	29.5%
2	韓国	282,884	11.0%
3	アメリカ	234,148	9.1%
4	インドネシア	218,889	8.5%
5	タイ	163,775	6.4%
6	台湾	160,914	6.3%
7	オーストラリア	110,981	4.3%
8	マレーシア	73,122	2.8%
9	フィリピン	50,444	2.0%
10	ベトナム	46,620	1.8%
	その他	468,468	18.3%
	合計	2,567,333	100.0%

※門司税関資料に基づき作成



## 県内企業の海外進出状況及び県内への海外企業進出状況

## 1. 県内企業の海外進出状況

年次	H16	H17	H18	H19	
進出企業数(社)	102	121	267	335	
進出件数(件)	300	407	423	540	
国・地域別進出件数	中国	102	146	153	219
	アメリカ	33	49	45	51
	台湾	17	30	31	38
	韓国	18	19	22	36
	タイ	15	20	22	28
	香港(中国)	11	18	19	27
	マレーシア	16	20	20	26
	シンガポール	17	20	20	21
	ドイツ	6	11	11	13
	フィリピン	11	11	12	12
	その他	54	63	68	69

※福岡県「福岡県の国際化の現状」に基づき作成

※各年12月末現在

※進出件数は、事務所等の所在地ごとにカウント

## 2. 県内への海外企業進出状況

年次	H16	H17	H18	H19
進出企業数(社)	318	388	432	440

※福岡県「福岡県の国際化の現状」に基づき作成

※原則として資本金の外資比率が約1/3以上の企業

## 外国人入国者数(福岡県)及び県内留学生数の推移

## 1. 外国人入国者数(福岡県内港)の推移

(単位:人)

年次	総数	アジア	
		アジア	比率
H11	313,235	261,369	83.4%
H12	339,114	296,794	87.5%
H13	343,141	303,607	88.5%
H14	382,477	347,129	90.8%
H15	371,660	345,399	92.9%
H16	462,112	428,413	92.7%
H17	498,290	465,934	93.5%
H18	628,270	597,078	95.0%
H19	726,615	693,916	95.5%
H20	709,973	674,639	95.0%

約  
2  
・  
3  
倍

※「福岡県統計年鑑」、法務省「出入国管理統計統計表」に基づき作成

## 2. 県内留学生数の推移

(単位:人)

年次	総数	アジア		人文・社会科学		女性	
		アジア	比率	人文・社会科学	比率	女性	比率
H11	2,258	2,031	89.9%	1,205	53.4%	965	42.7%
H12	2,587	2,357	91.1%	1,495	57.8%	1,112	43.0%
H13	3,043	2,806	92.2%	1,803	59.3%	1,374	45.2%
H14	3,759	3,502	93.2%	2,403	63.9%	1,784	47.5%
H15	4,304	4,075	94.7%	2,861	66.5%	1,715	39.8%
H16	4,726	4,459	94.4%	3,040	64.3%	2,209	46.7%
H17	5,082	4,840	95.2%	3,131	61.6%	2,409	47.4%
H18	5,091	4,845	95.2%	3,076	60.4%	2,354	46.2%
H19	5,129	4,833	94.2%	2,946	57.4%	2,371	46.2%
H20	5,487	5,188	94.6%	3,169	57.8%	2,541	46.3%

約  
2  
・  
4  
倍

※福岡地域留学生交流推進協議会資料に基づき作成

※各年5月1日現在

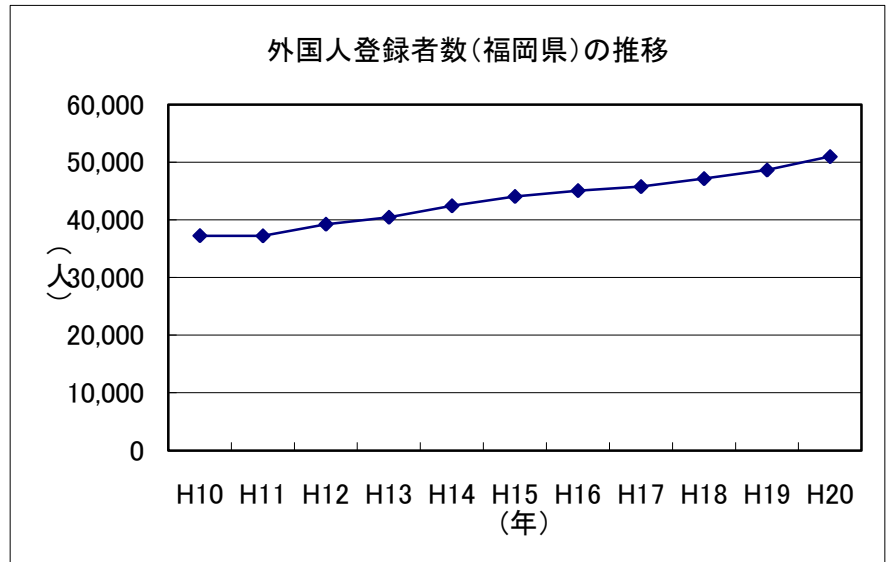
※専修学校に在籍する留学生は含まない。

### 外国人登録者数(福岡県)の推移

(単位:人)

年次	総数
H10	37,248
H11	37,216
H12	39,231
H13	40,434
H14	42,428
H15	44,049
H16	45,065
H17	45,758
H18	47,143
H19	48,635
H20	50,963

約  
1  
・  
4  
倍

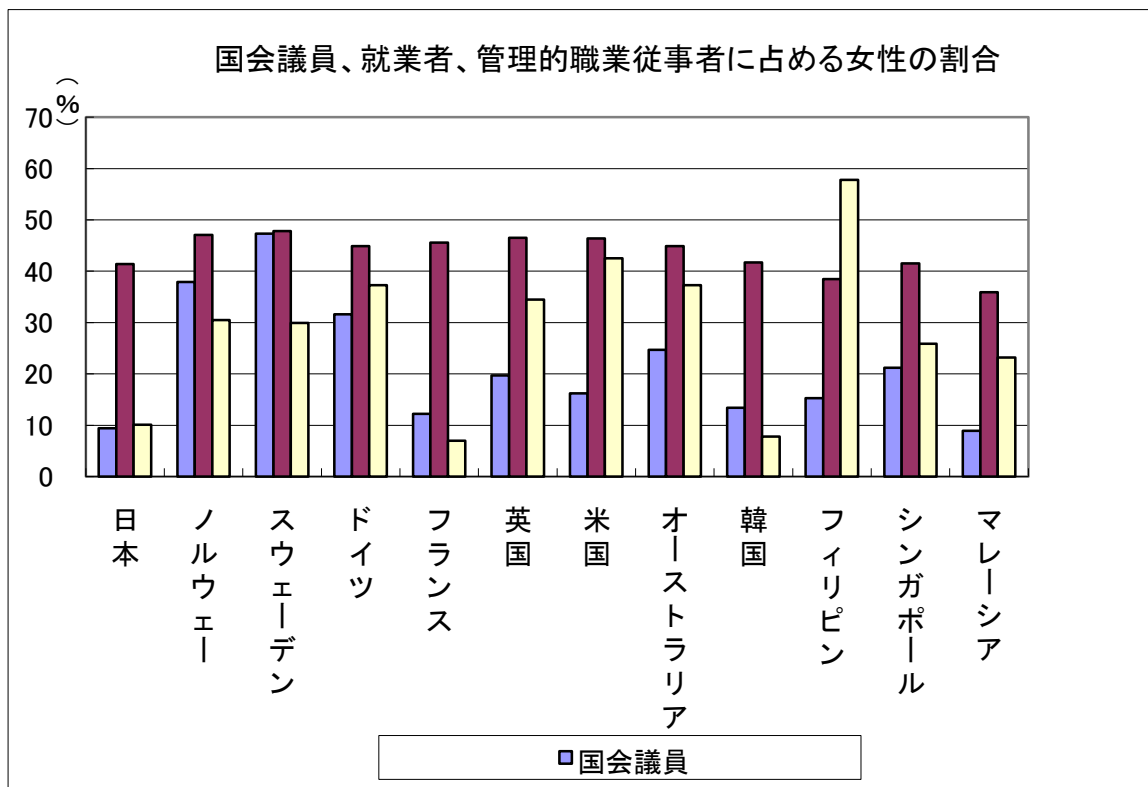


※「福岡県統計年鑑」、法務省「登録外国人統計統計表」に基づき作成  
 ※各年12月末現在

#### 平成20年国籍別外国人登録者数

中国	韓国・朝鮮	フィリピン	米国	インドネシア	ベトナム	ネパール	その他
20,201	19,478	3,677	1,164	734	600	444	4,665
39.6%	38.2%	7.2%	2.3%	1.4%	1.2%	0.9%	9.2%

## 国際比較でみた男女共同参画の状況



	国会議員に占める女性の割合 (二院制の場合は下院、%)	就業者に占める女性の割合 (%)	管理的職業従事者に占める女性の割合 (%)
日本	9.4	41.4	10.1
ノルウェー	37.9	47.1	30.5
スウェーデン	47.3	47.8	29.9
ドイツ	31.6	44.9	37.3
フランス	12.2	45.6	7.0
英国	19.7	46.5	34.5
米国	16.2	46.4	42.5
オーストラリア	24.7	44.9	37.3
韓国	13.4	41.7	7.8
フィリピン	15.3	38.5	57.8
シンガポール	21.2	41.5	25.9
マレーシア	8.9	35.9	23.2

※内閣府「平成19年度版男女共同参画白書」に基づき作成